

視察（研修）報告書

平成30年10月25日

府中市議会議長 様

会派名又は

議員名 日本共産党

| | |
|----------|---|
| 日 時 | 2018年10月23日（水）～10月24日（木） |
| 視察（研修）先 | 東京都立多摩図書館セミナーホール |
| 視察（研修）項目 | 第34回議員の学校「人権思想にもとづく防災政策の理念と実際～大災害の現場から学ぶべきこと～」 |
| 参加者 | 檜崎征途、岡田隆行 |
| 視察（研修）内容 | <ul style="list-style-type: none">・特別報告「女川町の復興まちづくりの現状と今後の課題」 女川町長 須田善明氏・シンポジウム「この間の大災害をどうみるか」・西日本豪雨の現場からの報告・講義1「大震災の教訓と課題」・講義2「土砂災害防止法と都市計画・自治体防災計画」・講義3「憲法にもとづく地方自治体の防災政策の原則」 |
| 所 感 | <p>・女川町長の報告より、町が被災の現実から出発し、どのような復興計画を立て、実現してきたか、リアルに理解できた。ユニークなアイデアを出し合い、夢と希望をもって取り組むことの大切さを学ぶことができた。</p> <p>・西日本豪雨の現場からは岡山県倉敷市の被災の状況が報告される中で、もっと早くから水の流れを変える工事をしたり、河川内の樹木を撤去したりしていたら防げた人災の感を抱いた。政治の果たす役割の大きさを痛感した。</p> <p>・講義1「大震災の教訓と課題」では、阪神淡路大震災や東日本大震災からどのような教訓を引き出すか、またそれをもとにどのように減災復興政策を立てていくのがよいかを学ぶことができた。</p> |

| | |
|--|--|
| | <p>は、とりわけ土砂災害にポイントを置き、土石流や土砂災害のメカニズムを新潟中越地震や広島豪雨土砂災害などを実例に説明されたことで緊迫感を持って聴講することができた。また平成29年につくられた「土砂災害防止対策基本指針」やそれにもとづく都市計画の一端も知ることができた。</p> |
|--|--|